

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007

FAX03-3261-5453

2017年3月9日（木）

第730号 本号3号

憲法会議 第52回全国総会開催

憲法会議は5日、都内韓国YMCA青少年センターで第52回総会を開催しました。戦争法廃止、共謀罪の阻止、安倍政権打倒をめざし、改憲を許さず憲法を守り生かす憲法運動と「共同」の発展に全国各地で役割を果たす方針を確立しました。

開会あいさつで長尾ゆり代表幹事は、「戦争法を廃止し、憲法を守り生かす市民の共同が、市民と野党の共闘、そして野党共闘へと発展し、格差と貧困問題まで共同のたたかいが広がっていった。共謀罪の署名も始まった。共謀罪を国会に提出させないたたかいを進めよう」と述べました。

その後、代表委員の山下芳生日本共産党副委員長・参院議員が情勢報告を兼ねてあいさつ。午前中の日曜討論のことを語り、「共謀罪をテロ等準備罪と名を変えて提出しようとしているが、法案の中に「テロ」という文字がなかった。オリンピック誘致のプレゼンテーションでも「一番安全で、テロの心配がない」と語った。口実に過ぎない」と指摘し、野党共闘で反対運動を強めたい」と報告しました。

方針案を提案した平井正事務局長は、安倍政権の前に立ちあがる共同を支える役割を憲法会議が果たしていると強調し、共闘の新たな前進に力をつくすとともに、①憲法の値打ちを学びたいに生かす「学習大運動」の推進、②総選挙に向けた草の根での共闘の前進、③憲法施行70年にふさわしい組織の強化に取り組もうと呼びかけました。

それを受け、各地・団体の代表が発言しました。

民青同盟の代表は、様々な団体の青年部と共に、昨年につき「若者憲法集会」を5月21日に開催すると報告し、地域や大学等で「草の根対話運動に踏み出してしていると、四国の大学での対話のとりくみを紹介しました。また、新潟の代表は、参院選、知事選での勝利に続いて「総選挙での野党と市民の共同が勝利するためには、共通政策の深化が必要だ。市民がシンポジウム開催するなどとりくみが広がっている」と述べました。埼玉の代表は、15小選挙区のうち12で地域連絡会が結成され、残った区でも結成に向け動きが広がっている。共謀罪のたたかいでは「安心して飲みたい・・・ね。『共謀罪』・・・!?やだねえ～」とのチラシを『共謀罪』に反対する居酒屋友の会@埼玉」として作成したと報告。また、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の代表は、「治安維持法犠牲者等の闘いと抵抗の歴史を語り、憲法違反・戦争準備の『共謀罪』を粉碎しよう」とのパンフを作成したことを紹介し、「治安維持法の下での弾圧の実態を広く伝え、必ず阻止したい」と決意を語りました。

討論を受けて、平井事務局長がまとめを行い、参加者の拍手で2017年度活動方針が採択されました。

また、新しい第52回総会期役員を選出しました。



衆院憲法審査会 16 日に開催へ 傍聴を！

衆院の憲法審査会は 2 日の幹事懇談会で、今国会初となる憲法審査会を 16 日に開催することを決めました。4 ヶ月ぶりの再開で「参政権の保障をめぐる問題」をテーマに与野党が見解を示し、話し合うこととなります。大規模災害など緊急事態下の国会議員の任期延長、首相の衆院解散権の在り方、隣接する選挙区を統合する「合区」解消などが議題となるとみられます。

この幹事懇談会で 23 日か 30 日に参政権をテーマに参考人を招致することも決めています。

なお、この幹事懇談会では、民進党が天皇の退位をめぐる問題に関連し、「天皇制」を議題にするよう改めて要求しました。自民党は衆参両院議長の下での各党の意見集約を優先すべきだと主張し、与野党の幹事で引き続き協議することになりました。

自民党は、今国会中に改憲項目を絞り込み、改憲原案の年内の国会発議を目指しています。

衆院憲法審査会（第 1 回）

2017 年 3 月 16 日（木）午前 9 時より

案件 ・ 幹事の辞任及び補欠選任

・ 日本国憲法および日本国憲法に密接に関連する基本法制に関する件

・ 参政権の保障をめぐる諸問題

① 一票の格差、投票率の低下その他選挙制度の在り方

② 緊急事態における国会議員の任期の特例、解散権の在り方等

傍聴希望者は前日の 15 時まで申し込みを

総がかり行動実行委員会は第 5 回憲法審査会 P T を開催し、多数の市民に傍聴を呼びかけようと思意思統一しました。傍聴を希望される方は、前日の 15 時まで、憲法会議に申し込んでください。

傍聴申し込み 憲法会議 電話 03-3261-9007 F A X 03-3261-5453

傍聴される方は、16 日衆院議員面会所に 8 時 40 分集合となります。

350 人が参加して

「共謀罪の国会提出を許さない院内集会」開催！

「話し合うことが罪になる 共謀罪の国会提出を許さない院内集会」が 6 日、参議院議員会館講堂で開催され、350 人が参加し、「共謀罪の国会提出を許さない」と決意を固めました。主催は 27 日に結成され、集会後に記者会見を行った「共謀罪 NO！実行委員会」で、「戦争させない・9 条を壊すな！総がかり行動実行委員会」の協賛で開催されました。

主催者あいさつに立った海渡雄一弁護士は、「歴史的な共謀罪 NO！実行委員会が結成された。総力を結集して共謀罪を阻止しよう」と呼びかけました。

その後、内田博文九州大学名誉教授・神戸学院大学教授が「共謀罪と治安維持法」とのテーマで講演されました。内田氏は分かりやすい言葉で①戦前、日本は坂道を転げ落ちるように戦争への道を突き進んでいった。現在は、どうか、似ていないか。②「共謀罪」（テロ等準備罪）は平成版「治安維持法」と言われるが、治安維持法とはいったいどのようなものだったのか。③「共謀罪」（テロ等準備罪）は市民に適用されることはないかと政府はいつているが本当か。④「共謀罪」（テロ等準備罪）と治安維持法がよく似ているのはどういう点か。の 4 点にわたって話されました。

とりわけ、内田氏は治安維持法との類似点を詳細に話し、「治安維持法の取り締まりは『共産党等』とされたが、最後は『普通の国民の普段の生活』が取り締まりの対象とされた。関係のない人はいなかった。にもかかわらず、政府は『皆さん方には関係ありませんよ』と風潮した」と、「私

には関係ない」ということはあり得ない、と語りました。そして、「最大の綱引きはこの点にある」と結びました。

議員も駆けつけ、激励・連帯あいさつ！

集会に駆けつけた、藤野保史日本共産党衆院議員、福島瑞穂社民党参院議員、山添拓日本共産党参院議員が挨拶されました。山添氏は「私たちは関係ないという世論を変えていくことが大切。安倍首相は東京が一番安全と語り、オリンピックを誘致した。オリンピックため、テロ等準備罪を導入しようとするのはまやかし」と批判し、提出させないために一緒に奮闘し合おうと訴えました。

与党内でも疑問が出さる！

その共謀罪法案・組織犯罪処罰法改正案について、自民党は8日午前の法務部会で、「テロリズム集団その他の」との文言を追加した修正案を了承しました。8日の部会では277ある共謀罪の処罰対象犯罪について「当初案からの絞りの線引きが曖昧だ」との指摘が相次ぎましたが、最終的に了承されました。出席議員からは「恣意的判断だ」「国会で問題になる」などと疑問が示されました。「条文を修正する話ではない。結論を出すべきだ」との意見も出たこともあり、古川俊治部会長が一任を取りつけ、「国会で答弁できるよう、関係省庁に指示する」として了承しました。公明党は9日も関係部会での審査を予定です。

安倍首相・日本会議が目指す教育に、全国から批判の声！

全国で、森友学園が運営する塚本幼稚園の運動会の選手宣誓に驚き、批判の声が上がっています。これが安倍首相の目指す教育であり、子ども像なのでしょうか！その宣誓を紹介します。

宣誓

あついあつい夏がすぎて、ぼくたちわたしたちの待ちに待った、平成27年度 秋の運動会がきました。先生と、お友達と、一緒になって、おけいこをした、おゆうぎ、音楽、体育、かけっこなど、今日一日、頑張ります。おじいちゃん、おばあちゃん、おとうさん、おかあさんの前で、褒めていただけるよう、全力をつくします。

大人の人たちは、日本が他の国に負けぬよう、尖閣列島・竹島・北方領土を守り、日本を悪者として扱っている、中国、韓国が、心改め、歴史で嘘を教えないよう、お願い致します。

安倍首相、ガンバレ！安倍首相、ガンバレ！安保法制国会通過よかったです！

僕たち、私たちも、今日一日、パワーを全開します。日本ガンバレ！えいえいオー！

大阪憲法会議は、この問題で松井一郎大阪府知事と向井正勝大阪府教育長あての「学校法人森友学園『瑞穂の國記念小學院』設置認可をめぐる要請書」を示し、近々申し入れを行う予定です。

各地のとくくみ

埼玉 憲法会議等が呼びかけ、JR浦和駅前で大宣伝行動

共謀罪法案の国会提出を何としても阻止しようと6日、さいたま市のJR浦和駅前で大規模宣伝が行われました。埼玉憲法会議と秘密保護法の撤廃を求める埼玉の会が呼びかけ、31人が参加しました。

参加者が次々とマイクを握ってリレートークし、署名への協力を呼びかけました。「みんなのさいたま市をつくる会」の前島ひでお市長候補も、「37年間教員として働き、自衛隊に入った教え子もいる。共謀罪は市民の行動をチェックし、個人の尊厳や平和を危うくするもの。安倍政権の戦争する国づくりで、教え子を戦場に送るわけにはいかない」と訴えました。

署名したさいたま市の井上えみ子さんは「何でも罪にするような法律をつくって国民を苦しめるようなことはしてほしくない。日本は民主主義なのに、だんだんそうじゃない方向に向かっている気がする」と話しました。